

第3回 香取市子ども・子育て会議  
議事録要旨

日時：平成26年7月22日（火）15時～

場所：香取市役所4階庁議室

1.開会

2.会長あいさつ

3.協議事項

（１）「量の見込み」と「確保方策及び実施時期」等の素案について

《事務局からの資料説明》

《質疑応答》

会 長 一時預かりについて、幼稚園の預かり保育と保育所での短時間の一時預かりで、また、民間と公立で保育料の差にできることが懸念される。不公平にならないようにしてほしい。また、急な用事に対応する一時預かり事業や病児保育、そのほかの子育て支援事業をはじめ、子育て支援の充実を検討してほしい。

事務局 一時預かりについてはまだ未確定だが、不公平がないように検討していきたい。公立と民間との差については、私立幼稚園が新制度に移行する、しないで、考え方は異なる。子育て支援の新事業については、病児保育などについては、医師や看護師などの配置が問題となる。

会 長 市の窓口で専門職を配置して、訪問支援というやり方もあるのでは。市として、子育て環境の充実を図ってほしい。

（２）事業者向け調査の状況

《事務局からの資料説明》

《質疑応答》なし

（３）新規条例整備（案）

《事務局からの資料説明》

《会長から、子ども・子育てを取り巻く環境（少子化の問題、児童虐待の増加、軽度発達障害児の増加等）に関する資料説明》

《質疑応答》

会 長 新制度の施行にあたり、市の窓口を一本化できないか。部門間の連携を強化してほしい。また、担当部門に子育ての専門家（保健師や看護師、言語聴覚士など）の設置してほしい。少子化の中で、民間の園をつぶさないように配慮し、小規模への転換が図れるよう、条例化を図ってほしいほか、民間園の立て替えへの補助の充実、NPO法人などによる子育て支援の充実を図ってほしい。

4.その他

《質疑応答》

委 員 待遇が悪く、保育士が不足しているという問題がある。また、放課後の活動（勉強の指導、スポーツ等）を充実してほしい。保育園や小学校の空き教室を活用してほしい。他市では病児保育なども利用できる。

- 会 長 保育士不足は、首都圏や関西圏では深刻な問題になっている。専門学校・短大の保育科の学生は、全員が保育士になるわけではない。他の分野に比べて収入が低く、経営側も長く働いて昇給が続いていくと赤字になり、昇給させられない。保育士の処遇改善については、8月に県に要望をあげる予定である。放課後児童クラブについては、6年生まで対象が広がることへの対応を図る必要がある。また、放課後の勉強の指導等の件は、放課後児童クラブでは勉強を教えるとはいけないという誤解があるのではない。
- 事務局 放課後児童クラブについては、地域のニーズを精査し、拡張を検討していきたい。勉強を教えるてもよいかという問題は、これまでのところ検討してはいない。
- 会 長 放課後の取り組みでは、ドイツが先進地である。学校の空き教室を使ってという意見があったが、空き教室の活用は、教育部門と保育部門との制度上の棲み分けが難しいという問題もある。文部科学省の取り組みとして、放課後子ども教室があるが、予算が少ないという課題がある。
- 委 員 放課後子ども教室の運営・指導には、専門家、資格のある人がよいという声を聞く。
- 事務局 成田市では放課後児童クラブに地域の学生が関わっており、指導にベテランの方が関わるよりもうまく運営できていると聞いている。本市の場合は、地理的な問題などで若い人の確保は難しく、放課後児童クラブに関わる人材の確保が難しい。
- 委 員 放課後児童クラブでスポーツの活動は難しいと思うが、現状でも勉強は宿題をしっかりとやってから遊ぶかたちではある。
- 委 員 自分の団体（民間放課後児童クラブ）では、勉強への対応として、塾への送り迎えなども行っており、学校にも迎えに行く。
- 委 員 そのような団体があるのであれば、利用したいという保護者は多いのではないか。
- 会 長 民間の放課後児童クラブについては、市の事業の充実とともに、補助が削られたため、運営が難しくなっている。
- 委 員 今後は、親への指導が重要なのではないか。保育園の運営が厳しいのであれば、親がボランティアとして運営に協力するかたちが望ましい。親にも現状を伝える必要があるのではないか。
- 会 長 家庭教育学級などは市でも実施されていると思うが、若い父母の参加が少ないのではないか。講座で話を聴くというのが苦手な方もいる。
- 事務局 家庭教育に関しては、市としても携帯電話の問題をはじめ、学校の要望に応じて対応している。
- 会 長 特に問題がある家庭は、家庭教育学級などの講座には参加しないのでは。
- 委 員 理想かもしれないが、保育園の運営への親の関わりを増やしていきたい。
- 会 長 自分の運営する園では、親を対象に保育ボランティアを募集している。父母が保育園の実情を知るよい機会になると考えている

## 5.閉会

以上